

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（社会学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	<p>問1では、エミール・デュルケムの自殺論について理論的に理解し、具体的な事例をあげて説明できる能力を問うた。</p> <p>問2では、1) において量的調査の信頼性と妥当性について、2) では社会調査の倫理を具体的な調査状況において理解しているかどうかを問うた。</p> <p>問3では、社会学の重要な概念について問うことで、社会学の学説や基礎的事項の理解度を確認した。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 社会学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題1枚、解答用紙6枚を配付する。問ごとに別の解答用紙を使用し、冒頭に問番号を明記すること。配布した解答用紙を必ずしもすべて使用する必要はない。

問1. デュルケームの自殺の主要な3類型について例をあげながら説明し、さらに自殺を分業と関連づけて論じなさい。

問2. 下記の（1）と（2）に答えなさい。

（1）量的調査における信頼性と妥当性について、それぞれ説明しなさい。

（2）介護施設に入居している85歳以上の高齢者を対象にインタビュー調査を行う際、社会調査の倫理として考慮しなければならないことは何かを述べなさい。

問3. 下記の（1）～（7）から5つ選び、それぞれ200字程度で説明しなさい。

（1）地位の非一貫性

（2）新しい社会運動

（3）世界都市（グローバル都市）

（4）AGIL図式

（5）カリスマの日常化

（6）順機能・逆機能

（7）世界システム